<訂正箇所>

P. 3

1. コンテスト部門に関する実施規定

(4) 演技規定

① 演技フロアは、最大横 $30 \, \text{m} \times$ 縦 $25 \, \text{m}$ の広さで $5 \, \text{m}$ のポイントが有る。 ただし、全てを使用しなくてもよい。

② 演技曲は自由とし、曲の長さは次の通りとする。 (短くても可)

入門・初級2分30秒程度中級・上級・最上級3分30秒程度

③ 演技曲は、CD-Rに録音し(市販のCDは1曲のみの使用であれば可) **団体名を記入して事前にCD-Rに録音し提出すること。**ただし、市販のCDは当日音響席に持参すること。 尚、CD-Rに録音する場合は、音楽録音使用許諾を受けたものとする。

- ④ 演技曲のスタート及びストップの合図は、引率者の1名が音響席にて行うこと。
- ⑤ 入退場については曲なしで、係員の指示に従い入退場を行うこと。

(5) 演技内容

各級(入門・初級・中級・上級)

関東バトントワリングコンテスト演技内容手引きに準ずる。

◇ 各級の演技内容(演技内容の範囲参照)

	入門 (Novice)	初級 (Beginner)	中級 (Inntermediate)	上級 (Advance)
コンタクト	・ベーシックトワール	・フィンガー (フォー、エイト)	・フィンガー全般	・フラッシュ系
マテリアル	・トゥーフィンガー	・アンダーハンドフリップ	・グラブビハインドバック	・連続性のある組み合わせ
	・サムフリップ	・カートウィールフリップ	・ブラインドキャッチ	・ボディーワークとの組み合わせ
		・リバースカートウィールフリップ		
	・アームロール	・フィッシュテール	・レイアウトロール	・トリプルエルボーロール
	・ハンドロール	・リバースフィッシュテール	・カットバック	・バックネックロール
ロール	・リバースハンドロール	・ダブルエルボーロール	・エンシ゛ェルロール	・フロントオブネックロール
	・トゥーアームロール	・リストエルボーダブルロール	・キャリー	・カットバックス
	・エルボーロール	・フォーウェイフロントロール	*2つ以上のコンティニュー	・ポップアップ
	・エルボーリストダブルロール		(例)・フィッシュテールキャリー	*3つ以上のコンティニュー
			・ダブルエルボーロール~	
			レイアウトロール	
	・トス~グラブ	・トス~1 ポーズ	・1スピン~様々なレセプション	・2スピン~様々なレセプション
エーリアル	・トス~キャッチ	・1スピン~グラブ	・2スピン~グラブ	・3スピン~グラブ
		・1スピン~キャッチ	・2スピン~キャッチ	・3スピン~キャッチ
				・トス~ボディーワーク
				(例) トス~イリュージョン
	・イリュージョン、	・イリュージョン、	・イリュージョン、	・ハイトスにおいてのイリュー
ボディーワーク	ジムナスティックは不可	ジムナスティックは不可	ジムナスティックは可	ジョン、ジムナスティック等
		カートウィールのみ可		は3回以内

※各級の上限範囲を挙げているもので、全て行うものではない。

<エクスチェンジ・フロアデザイン>

(= / / / ± v v / P = / / / 1 v /							
	入 門	初級	中級・上級	最上級			
	・パスのチェンジ	・ペアのチェンジ	・複数の人数のチェンジ	・上限なし			
		・複数の人数のチェンジ	・メンバーの配置移動、				
エクスチェンジ			・ロールでのチェンジ				
			・高低のチェンジ				
			・時間差のチェンジ				
			・トゥーバトンとの組み合わせ				
フロアデザイン	・3回以上の変化が望ましい		・5回以上の変化が望ましい				

(7) 成績

- ① 100点法にて採点し、金・銀・銅の成績をつける。(審査員の平均点)
- ② 入門~最上級 <u>金賞…85点以上</u> 銀賞…70点以上 銅賞…69点未満 **※別紙の『チームコンテスト審査基準』に基づく。**

P. 5

2. フェスティバル部門に関する実施規定

(4) 演技規定

- ① 演技フロアは、最大横 $30\,\mathrm{m} \times$ 縦 $25\,\mathrm{m}$ の広さで $5\,\mathrm{m}$ のポイントが有る。 ただし、全てを使用しなくてもよい。
- ② 演技曲は自由とし、曲の長さは4分以内とする。
- ③ 演技曲は、CD-Rに録音し(市販のCDは1曲のみの使用であれば可) 団体名を記入して事前にCD-Rに録音し提出すること。ただし、市販のCDは当日音響席に持参すること。 尚、CD-Rに録音する場合は、音楽録音使用許諾を受けたものとする。
- ④ 演技曲のスタート及びストップの合図は、引率者の1名が音響席にて行うこと。
- ⑤ 入退場については曲なしで、係員の指示に従い入退場を行うこと。